

会 議 録

1 会議名

令和元年度 第9回金谷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 令和2年度以降の地域協議会だよりの配布方法について（公開）

(2) 令和2年度地域活動支援事業 募集要項及び審査・採択のルールについて
（公開）

3 開催日時

令和2年1月22日（水） 午後5時35分から午後6時18分まで

4 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：高宮宏一（会長）、川住健作（副会長）、村田敏昭（副会長）、
伊崎博幸、石野伸二、牛木喜九、桑山敏男、齋藤邦博、高橋敏光、
竹内恵市、西条聖士、山口茂幸、吉村清正
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、佐藤係長、小林主任

8 発言の内容

【小林主任】

- ・ 土屋委員、永野委員を除く13人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は高宮会長が務めることを報告

【高宮会長】

- ・ 会議の開会を宣言

- ・会議録の確認：伊崎委員、牛木委員に依頼
- ・次第2「議題等の確認」について事務局に説明を求める

【堀川センター長】

- ・資料により説明

【高宮会長】

- ・事務局の説明について質疑を求めるがなし
- ・議題の順番について、議題（2）を先に取り上げることを諮り、委員全員の了承を得る

一次第3議題（2）令和2年度地域活動支援事業 募集要項及び審査・採択のルールについて—

【高宮会長】

前回の会議では、令和2年度の採択方針や審査・採択のルール等については、令和元年度と同様にすることを決めた。本日は、令和2年度の募集要項や審査・採択の基本的なルール等について、資料のとおりでよいかを確認する。

資料について、事務局に説明を求める。

【小林主任】

- ・資料No.1～No.4について説明
- ・資料No.3「1. 審査の基本的なルール」（1）②の「※委員が所属する団体等から提案された事業であっても、審査・採点者になることができる。」について、修正前の「審査・採点を辞退することは認めない。」をこのとおり変更してよいか協議願う

【高宮会長】

- ・資料について委員に質問、意見を求めるがなし
- ・資料No.3の「※委員が所属する団体等から提案された事業であっても、審査・採点者になることができる。」とする変更について委員に意見を求める

【小林主任】

補足する。ちなみに高田区地域協議会では、この文言を削ることになった。その理由は、②に「審査・採点者は、全ての提案事業について審査・採点を行う。」と書かれており、原則全員が審査・採点を行うため、その文言は不要となった。その点もふまえて協議いただきたい。

【高宮会長】

事務局の補足説明をふまえ、委員に意見を求める。

【伊崎委員】

削除でよいと思う。

【齋藤委員】

高田区ではそのように理解したとのことだが、私としてはあった方が分かりやすい。

【吉村委員】

私も残しておいてよいと考える。上の②と完全に重複するが、この文言があった方が親切ではないか。当然このようなケースはあるので、地域協議会委員をやっている人は百も承知だろうが、新しく委員になる人にとっては親切だと思う。

【竹内委員】

4月から新しいメンバーに変わるので、少しでも補足説明があった方が分かりやすいのではないかと。同じメンバーで引き続きやるなら、なくても十分理解できるが、今回は交代もあり得るので、残しておいた方が新しく委員になる人にとってはよいのではないかと。

【川住副会長】

新しい委員が来られるので、残した方がよいと思う。はっきりする。

【村田副会長】

同意見である。

【高宮会長】

- ・資料No.3の「※委員が所属する団体等から提案された事業であっても、審査・採点者になることができる。」について、そのまま掲載することに賛成か反対かを採決し、賛成多数により掲載することに決する

- ・資料No.1～No.4の案のとおりとすることを諮り、委員全員の了承を得る

一次第3議題（1）令和2年度以降の地域協議会だよりの配布方法について一

【高宮会長】

次第3議題（1）「令和2年度以降の地域協議会だよりの配布方法について」に入る。

前回の会議では、今までどおり全戸配布がよいか、班回覧がよいか、意見を聞いた結果、8人中全戸配布が5人、班回覧が2人、どちらともいえないが1人だった。しかし、その時の出席者が少なかったため、結論を保留し改めて協議することになった。

前回欠席した委員に、全戸配布がよいか、班回覧がよいか、意見を求める。

【伊崎委員】

私の周りの若者の意見としては、班回覧だろうが全戸配布だろうが、正直見ない人が多い。文字ばかりだと興味を持つ人がいないし、地域協議会の認知度もまだまだ。特に40歳以下の人々の認知度は低いような気がするので、何か別の方法を考えなければと思っていた。予算に余裕があれば、全戸配布の方が見てもらえる可能性は高まる。はっきり意見が決まっていないが、全戸配布の方がありがたい。

【高宮会長】

机の上に金谷区地域協議会だよりと他のセンターの地域協議会だよりを配布した。春日区、新道区等ではA4両面の1枚だが、金谷区地域協議会だよりはA3の両面である。事務局が大変苦勞して、地域協議会の内容をお知らせしている。全戸配布であれば、住民の人からゆっくり見てもらえる。

他の区の状況について事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

現在知り得ている情報では、旧町村の13区では、名立区は協議未了であるが、その他の12区は全て全戸配布にすることが、各地域協議会の意向として決まっている。合併前上越市の15区については、全戸配布が5区、班回覧が1区、協議未

了が9区。

先ほど伊崎委員から出された予算についてだが、今の段階では予算のことは考えなくて結構である。全戸配布と班回覧のどちらでも予算は対応できるので、今は地域協議会としてどうすべきかを協議してほしい。

【高宮会長】

それを踏まえて意見を述べていただきたい。

【石野委員】

たよりを見ているお宅は多分見ていると思うが、見ていないお宅はそのまま捨ててしまうと思う。その比率がはっきり分からない。ただ想像では、そのまま廃棄されるお宅が非常に多いのではないかと。興味のある人は見るだろうが。実態がどうなのか、町内会長を通じてどこかの町内をあたってもらえればよいと思う。

【高宮会長】

町内会長を務めている委員に意見を求める。

【村田副会長】

金谷区地域協議会だよりは、他の区に比べて多くの記事がA3両面に書かれている。私達地域協議会委員のことを書いてくれており、意義のあるたよりだと思っている。それを班回覧で済ませてよいのか。私たちが従事したことに、多少なりとも自分の気持ちというか、意義や誇りといったものがあるのなら、たよりは全戸配布して見てほしいという気持ちになるのではないかと。見る、見ないは実際分からない。他の区地域協議会だよりはA4の両面のみ。非常に簡潔に作られている。それに比べれば、我が金谷区のたよりは本当に立派だと思っている。だからこれはいまままでどおり全戸配布という形が好ましいと考える。

【高宮会長】

上昭和町では、地域協議会だよりが配布されると、「こういうことやっているのかね」、「こんなこともやるのかね」といった反響を聞く。住民と話をしていると、地域協議会だよりを楽しみにしている人がいることを感じる。

【牛木委員】

中ノ俣は高齢者ばかりで文字に親しまない人が多いと思うが、班回覧だと隣にす

ぐ回してしまう気がするので、できれば全戸配布でお願いしたい。

【齋藤委員】

地域協議会だよりということで、地域協議会委員のサイドから物事を考えていくべきではないか。町内会の対応というのは特段考慮する必要はないのではないか。

年4回のたよりを通じて私達の議論を凝縮したものを皆さんに見てもらおうほか、我々も改めて見ると、こんなことをやっていたなと確認することができる。皆さんに少しでも知ってもらいたいと思っている。あと、個々人の手に取ってもらいたいが、市から他の文書もいっぱい来る。来年度から月1回の配布になるわけだが、地域協議会だよりだけ別の日というわけにもいかないなので、他のものと一緒に配らないといけない。班回覧だとさらに見てもらえない。文字がたくさんあるし、よいことが書いてあってもなかなか読んでもらえないと思う。地域協議会だよりも各区でいろいろな特徴があるが、例えば金谷区のマスコット。南葉山をマスコットにしてもよい。そのような一工夫があればまたよいかと思う。結論としては、今までどおり年4回全戸配布して、見てもらいたいと思っている。

【西条委員】

私も最初コストの面を考えていたが、事務局の説明では考えなくてよいとのことなので、地道に全戸配布して少しずつ認知度を上げていった方がよいと思っている。私の自宅は大貫だが、会社が稲田にあって新道区のたよりも届く。自分が地域協議会委員をやっているから目に留まるというのはある。また、実家が大町なので高田区のたよりも見る機会があり、たまたま3つの区のたよりを見られる環境にある。やはりまだまだマイナーなことであり、認知度を少しでも上げる。「下手な鉄砲も数撃ちゃ当たる」ではないが、そのようなところでとにかく広めていって、「こういうことをやっているんだね」という認識が広がっていけば、1つの契機になるかと思う。コストの関係で問題なければ、現時点では全戸配布でよいと思っている。

【高宮会長】

前回出席した委員を含めて、委員に追加の意見、質問を求める。

【山口委員】

前回はコストの面を考えて、全戸配布をする必要はないのではないかという意見

を出した。だが考えてみると、他の区と比べると金谷区のたよりは素晴らしい。保存に値する内容であって、コストを考えないでよいのであれば、全戸配布をすれば手元に残るので、全戸配布に意見を変更したい。

【高橋委員】

全戸配布をしても見る人と見ない人がいる。すぐに廃棄してしまう人は確かにいるが、といってこれを広報しないわけにはいかない。そうすると、年4回発行しているのを2回ぐらいにして全戸配布するのがよい。集約して4回分の内容を2回分にする。広報上越もそうなる。なかなか難しいと思うが、要点が分かるようにまとめて半分にする。もしそれ以外で重要なお知らせがあれば班回覧で対応すればよい。少し面倒になるが、基本は年2回の全戸配布で、重要なお知らせを住民にしなければいけない場合は班回覧としてほしい。

【石野委員】

今の議論と関係ないが、1月15日に出された地域協議会だよりに2月26日の活動報告会の案内が載っている。つい先日、近所の人から来年度の地域活動支援事業について問合せがあったのだが、その時は活動報告会の日程が頭に入っておらず、2月の終わりから3月の頭にかけて説明会があるはずで、その案内が後日回るはずだと答えた。また別に案内は出されるのか。

【小林主任】

今のところ案内を作成する予定はないが、作った方がよいということであれば可能である。

【堀川センター長】

補足だが、3月1日発行予定の地域協議会だよりに、地域活動支援事業に興味のある人向けに地域活動支援事業の相談受付についての記事を載せる予定である。それと、広報上越2月1日号にも活動報告会のお知らせを掲載する。

【石野委員】

3月1日発行だと、活動報告会には間に合わないだろう。

【堀川センター長】

なので、活動報告会とは別に、地域活動支援事業の相談受付についてのお知らせ

の記事を3月1日発行のたよりに掲載する。

【高宮会長】

- ・採決に移ることを諮り、委員全員の了承を得る
- ・金谷区地域協議会としては全戸配布を希望することに賛成か反対か採決し、賛成多数により全戸配布を希望することに決する
- ・地域協議会としては引き続き全戸配布を希望するという本日の結果を、後日町内会長会に伝える
- ・町内会長会への伝え方は正副会長と事務局に一任することを諮り、委員全員の了承を得る
- ・町内会長会からの返答については、次回以降の会議で報告する

—次第4 事務連絡—

【高宮会長】

次第4「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

- ・今後の日程

地域協議会活動報告会：2月26日（水）午後6時30分から 福祉交流プラザ

第10回地域協議会：3月25日（水）午後6時から 福祉交流プラザ

- ・配布物

参考資料 公の施設の再配置計画策定に係る取組状況について

春日区における冬季の通学路の安全確保について（春日区地域協議会意見書写し）

地域協議会委員募集チラシ

上越市創造行政研究所ニュースレター「創造行政」

「第10回信越県境地域づくり交流会」のご案内

連続フォーラム「地域課題からみた学校教育の将来像」開催案内チラシ

【高宮会長】

- ・事務局の説明について質疑を求めるがなし

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課
南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。